

第 4 回射水市総合計画審議会 会議録

日 時 令和 4 年 8 月 29 日 ( 月 ) 午後 7 時 ~ 8 時 50 分

場 所 クロスバイ新湊 2 階 i C N ホール

出席者

( 委員 )

明石あおい、朝倉あゆみ、飯山進、岩口久梨果、上田秀永、牛塚松男、大坪清治、大西宏治、荻浦明希子 ( リモート )、尾山春枝、門田晋、笹川征一、鈴木真由美、高市洋介 ( リモート )、塚本清、辻ゆかり、津田奈由子、釣谷隆行、樋上正之、二川由利子、牧田和樹、松本三千人、松本吉晴、宮城克文、宮田妙子、宮田雅人、森由佳子、亘建邦

欠席委員

加治幸大、川原辰弥、木田和典、古池清一

( 当局 )

磯部副市長 ( リモート )、金谷教育長、島多市民病院長 ( リモート )、桜川議会事務局長、小塚企画管理部長、北財務管理部長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、宮本産業経済部長、吉田都市整備部長、夏野上下水道部長、渡邊会計管理者、久々江教育委員会事務局長、吉岡監査委員事務局長、竹内消防長、中野市民病院事務局長 ( リモート )、杉本企画管理部次長、菅原政策推進課長、坂井財政課長

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

( 1 ) 第 3 次総合計画の全体構成について

【第 3 次射水市総合計画基本構想及び基本計画素案について】

政策推進課長	資料 1、2 に基づき説明
会長	この構成でよいかどうか、部会での意見が反映されているかどうかなど、全体を通してご意見をいただきたい。
委員 A	<p>P 2 5 の主要施策 1 - 2 - 3 「地域全体で子育てを支援する環境の整備」について、「協力会員数」が成果指標に掲げられているが、会員登録を毎年更新するわけではなく、中には援助活動をしていない人もいると思われることから、サポートの受け皿を示す指標とはいえないのではないかと。実際に援助活動をした人数を目標にしてはどうか。</p> <p>同様に、P 3 7 の主要施策 1 - 7 - 1 「スポーツ・レクリエーションの推進」でも、「スポーツ指導者数」が成果指標に掲げられているが、登録しているだけでなく、実際に現場で活動している人の数を目標にしてはどうか。</p>
福祉保健部長	ファミリーサポートセンターの協力会員数について、援助する際にはマッチングを行うが、うまくいかない場合は次の人にマッチングを働きかけるということもあるため、母数として残しておきたい。更新については、何年かに 1 回更新するような形を検討したい。

教育委員会 事務局長	「スポーツ指導者数」については、指導者は講習や試験を受けて登録され、更新していく必要があるため、登録者数が、ほぼ実活動人数と一致していると考えている。また、どこまでを「活動」とするか、という基準の設定も難しいため、登録している指導者数を指標としたい。
委員 B	<p>P 2 9 の主要施策 1-4-2 「豊かな心と健やかな体の育成」に「学校部活動の在り方の検討」という施策があるが、この施策の成果指標がなくなっているのはなぜか。</p> <p>P 4 3 の主要施策 2-1-3 「持続可能な農林水産業の推進」の成果指標として「化学肥料低減取組面積（緑肥）」があるが、この「緑肥」という言葉は一般には馴染みがないため、用語解説に注釈を加えてもらえればと思う。</p> <p>P 4 5 の主要施策 2-2-1 「企業誘致の推進」の成果指標が「市内企業団地における分譲率」となっている。施策として掲げている「新たな企業団地や経済活動の場の整備・充実」の成果を測れる指標になっていないように思う。</p>
事務局	部活動の在り方の検討にかかる指標については、指標設定の見直しにあたり、事務局から担当課に対して、主要施策に複数の指標が設定されている場合、主要施策に合致するもの、代表するものに絞ること、事務事業レベルの細かい指標はなるべく設定しないよう依頼をしたところ、「自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合」をこの主要施策を代表する成果指標とすることとなった。今回掲載していないこれ以外の指標についても、個別計画において取り組んでいくものであり、抜け落ちるものではない。
産業経済部 長	企業誘致については、主要施策である「企業誘致の推進」を代表する指標として「市内企業団地における分譲率」を設定したものである。令和 5 年度は現在整備中の沖塚原企業団地も加わり、分母が大きくなるが、その中で分譲率 1 0 0 % を目指すこととしたい。
委員 B	<p>一つの主要施策に対して一つの成果指標をとという説明があったが、そうならない主要施策もみられる。多くあればいいというものではないが、主要施策をどう進めていくのかがわかる指標設定を考えてもらいたいと思う。</p> <p>企業団地の指標については、せっかく施策で「新たな企業団地」と前向きに記載されているのに、成果指標は、漠然とした表現で積極性がわからない。</p>
会長	文言の調整でわかりやすいようにする検討があればいい。
委員 C	<p>P 4 6 の「働く選択肢を増やし、働きがいのある職場づくりを進める」において、現状と課題に「女性のキャリアに対する志向や働き方に関するニーズの変化に対応するため、性別にかかわらず、誰もが活躍できる職場環境づくりが必要である」とあり、主要施策として「女性活躍の推進」を掲げており、様々な働き方が想定されているが、成果指標として「管理職の比率」でしかみていないのはいかがか。</p> <p>また、P 6 のイラストについて、お年寄りが描かれていないなど、多様性を表現するものになっていないと感じる。</p>
会長	P 6 については後ほど議論する。
産業経済部 長	様々な女性活躍の形があることは十分認識している。女性活躍の在り方の一つとして、国や県でも指標として取り上げられている管理職比率を設定したものである。
委員 D	P 3 1 の主要施策 1-4-7 「信頼される教育の推進」の指標で、「コミュニティ・スクールの設置数」の目標値を「8 校」としている。令和 5 年度を準備期間、令和 6 年度から 2 校ずつ設置することを想定しているとのことだが、その場合、1 0 年間で射水市内 2 1 校全校に設置できないことになる。全校に設置される目標にすべきではないか。

教育委員会 事務局長	例えば、複数の小学校区を含む中学校区で一つを設置するというように、いろいろなパターンが想定されることから、そうした対応についても研究しつつ、毎年度2校ずつ設置を進めようとするものである。全小中学校にコミュニティ・スクール制度を取り入れていく必要があると考えている。
委員 E	指標設定のそもそもの考え方として、減っていった当然のものを数字として増やそうとしていると感じる。例えば、P23の主要施策1-1-2「出会いの場の創出」の指標としている「出会いイベント」などは、参加者数を増やすだけでいいのか。カップル率やイベントを通して成婚につながった組数にすべきではないか。P37の主要施策1-7-2「生涯学習活動の推進」の指標としている「市民一人当たりの図書貸出冊数」についても、クリック一つで本が買える時代にあって、これから冊数が減ることが想定される中で、無理やり数値を増やすのではなく、図書館を本を借りるだけでなくコミュニケーションの場として活用するなど、過去の指標にとられない、未来のことを考えた指標設定であるべきではないか。
事務局	出会いイベントの指標については、担当課と何度も協議し、結婚に至った数やカップルの成立数、参加者のうちカップルになった人の割合、市全体の婚姻数まで話が広がったが、最終的に、幅広く出会いの場を創出することを目的とし、その数を重視すべきとのことから、「参加者数」を指標として設定した。 図書館についても、担当課では、今後電子図書館の導入に取り組んでいきたいとの考えがあり、それを踏まえて、障がいをもっている方や図書館に直接来られない方も借りられるように、ということから冊数を増やす指標を設定した。
委員 F	成果指標を達成したときに課題がクリアできるかどうか、クリアできなかったときに誰が責任をとるのか、ということ考えた。指標の在り方について根本的に見直す場であると考えている。私は無理に成果指標をつけなくてもよいと思っている。成果指標を達成しても課題がクリアできないのであれば、何のための計画なのか、何のためにやっているのかがわからなくなる。成果指標は本当に必要なものだけを載せるとか、思い切って外し、下位計画で設定することも考えてはどうか。
企画管理部 長	成果指標についてご指摘いただいた点は、十分認識している。今後、実施計画の中でも議論することになるが、「新しい視点」での事務事業を掘り起こしていかなければならない。その意味で、本日お示しした指標も、いつかの時点で手を加えたり、軌道修正したりすることが求められる。今回示している基本計画の期間は令和5年度から令和9年度までの5年間であり、令和8年度、遅くとも9年度には、令和10年度以降に向けた基本計画を再度策定しなければならない。その際に、どういう成果指標が正しいのか、現在示している成果指標に実効性があったのか、効果的であったのかを検証したい。
会長	成果指標が達成できても課題が克服できていないということがどのくらい出てくるのかにもよる。委員の皆様も策定に関わっているので、責任は我々にもあるとみていただければよいと思う。
委員 G	P28からP31の「生きる力を育む学校教育を推進する」に、外国にルーツを持つ子どもたちの教育に関する内容が出てこない。射水市は富山県で最も外国人が多く、日本語指導が必要な児童生徒も、富山県で最も多い地域である。P81の主要施策7-1-1「多文化共生社会の形成」には「日本語教育への支援」という施策があるが、ぜひ学校教育の分野で、施策として「日本語教育の充実」を位置付けてほしい。
教育委員会 事務局長	困難な状況があることは認識しており、第1部第4章「生きる力を育む学校教育を推進する」では、学校教育全体の質の向上を謳っているところである。ご意見を踏まえ、記載内容について再度検討させていただきたい。
	これまでの審議会において、小杉駅周辺地区のまちづくり基本構想をきちんと新しい総合計画の中に位置付けてほしいといった趣旨の発言をしてきたが、素案の中

には、それが明らかに読み取れる項目がない。主要施策の中に個別具体的な事業名や施設名を入れるのは難しいのかもしれないが、そうであれば、関連する個別計画に記載することはできないか。

企画管理部  
長

「小杉駅周辺地区まちづくり基本構想」には、ハードの面とソフトの面がある。該当する章において、「関連する個別計画」として位置付けることを検討したい。

#### 【射水市の将来像について】

会長

射水市の将来像について、まずは、「まちの将来像」について議論いただきたい。

意見なし 決定

委員 I

P 6 のイラストについて、私の立場からは障がい者も描いていただければと思っている。また、総合計画策定に当たり実施したアンケートでもいろいろな意見があったことを踏まえ、いろいろな人たちで新しい計画を議論していること、みんなで仲良く生きていくことが表現できるようなイラストになればよいと思う。

会長

挿絵については作業途中である。状況について事務局より説明いただきたい。

事務局

現在の挿絵は、将来像をイメージするイラストを例示として入れている。今後、多様性を象徴するような絵になるように改善していく。事務局の中でも、高齢者や障害者、あるいはペットがいないという議論をしている。

会長

その他、この場で気づくものがあればご意見をいただきたい。

委員 A

固定した絵を打ち出してしまうと、自分がどこに当てはまるのかなどを考えてしまう。例えば、男性二人の絵のところには子どもがいるのに、女性二人のところには子どもがいないなど、具体的な人の絵を示すことで、固定的な概念が付随してしまうのではないか。絵は必要なのかどうかも含め、検討してもらいたい。

会長

まちの将来像は「いりどり ひるがる ムズムズ射水」で決定する。イラストについては、絵ではない方法や固定的なイメージを与えない絵も含めて検討いただきたい。

目標人口、関係人口について、問題なければこのまま進めたい。

意見なし 決定

会長

リモートで参加されている委員から意見があれば発言いただきたい。

委員 J

遠方にいるため資料が受け取れなかった。前回の資料を見ての発言になるが、主要施策 3-1-5 「公共交通網の整備」について、前回の安全安心部会で「コミュニティバスの乗車人数」という指標に関する意見があった。目標値 40 万人という固定値ではなく、例えば乗車率を指標としてはどうか。バスの数や、運行本数についても、燃料費の高騰に伴う運行経費の増大という課題が出てくると思われる。

会長

現在の新たな素案では、コミュニティバス本体の指標ではなく「地域内循環交通の運行体制の整備件数」となっており、ご意見の一部が反映されている形になっている。

委員 K

P 4 7 の主要施策 2-3-4 「女性活躍の推進」の指標に関し、管理職として活躍する女性だけでなく、副業・兼業など多様な働き方、活躍の形があるのはそのとおりだが、富山県は、女性の就業率や正社員割合、平均勤続年数が全国でもトップクラスである一方、管理職比率は 40 位台であることから、意思決定過程への女性参画を進めなければいけないと認識している。わかりやすい指標として、女性管理職比率でよいのではないか。

#### 4 その他

会長

今後の開催日程について、事務局から説明いただきたい。

事務局

次回の全体会は、10月28日（金）午後7時にクロスベイ新湊で開催する予定である。この審議会が答申前最終の審議会になると想定している。

パブリックコメントについては、改めて資料を作成し、正副会長に確認いただきたい。意見があれば9月5日（月）までに提出いただきたい。

副市長

委員の皆様の活発なご議論に感謝申し上げます。いただいたご意見を整理し、会長、副会長とも相談しながら、パブリックコメントに臨みたい。また、市議会に対して、9月定例会において、現在の進捗状況を説明することとしている。パブリックコメント、議会の意見を踏まえ、改めてご相談するので、よろしくお願いしたい。

#### 5 閉会

以上